



市川市立第二中学校

同窓会会報 News Letter

第5号 平成14年10月12日発行

市川市立第二中学校
同窓会事務局
〒272-0825
市川市須和田2-34-1
市川市立第二中学校 内
編集 広報委員会
編集責任者 山田尚美
E-mail :
suwada@endeavor.to

市川市立第二中学校同窓会

会報第五号



会則改正による
活動の活性化を
同窓会会長 桑村益夫(1期)

同窓会は平成9年秋、創立五十周年を期に再発足を果たして以来、会員、旧教職員、学校、更にPTAのご支援により、活動が徐々に軌道に乗れ無事6年目を迎える事ができ、心より厚く御礼申しあげます。卒業生は今年3月に卒業した53期生を加え、今や1万7千名に達し、約五百名の旧教職員を加えますと、同窓会は数の上では非常に大きなものになりますが、約四十名の空白を経て再発足した為、未だに多くの方が同窓会の存在すらご存じない状況にあります。

再発足以来の経験を踏まえ、活動をより活性化するため、去る6月開催の本年度総会において、会則を改正致しました。詳細は別項をご参照頂きたいと存じますが、総会、理事会、評議員会及び会計・名簿・総務企画・広報各委員会等の活動執行機関の役割と運営方法を明確にすると共に、より多くの会員に活動への参加を呼びかけ、役員が参加し易くする為に、役員選出委員会を設けました。

同窓会が再発足して以来、会員相互の交流が復活し、年齢層の高い会員を主体として同期会やクラス会が開催されるようになった事は誠に喜ばしい次第ですが、率直に申して若い世代は学業・仕事・

家事等に多忙で、同窓会への関心が低い様です。同窓会活動を通して、世代を越えて卒業生同士や恩師との絆を大切に、母校の発展を支援しようとするのは、意義のある事ではないでしょうか。

来年度は役員改選の年に当たります。一人でも多くの方が同窓会の運営に直接参加されるよう切望致します。現状では同窓会の財政は、会報を読んで下さっている4千数百名の卒業生・旧教職員の方々のご支援により支えられており、昨年の会報で賛助金をお願いをして以来、3月末日迄に395名から110万円近くの賛助金が寄せられております。このご支援に厚く御礼申しあげますとともに、引き続きご援助下さいますようお願い申し上げます。

尚、私事で恐縮ですが昨年来取り組んでいた仕事本格化し、本年末以降中国勤務となり、任期途中で誠に申し訳ない事ですが同窓会活動から離れざるを得なくなりました。各位のご協力に心より御礼申し上げますと共に、同窓会を引き続きご支援下さる様お願い申し上げます。

末筆となり恐縮ですが、各位の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

同窓会が再発足して以来、会員相互の交流が復活し、年齢層の高い会員を主体として同期会やクラス会が開催されるようになった事は誠に喜ばしい次第ですが、率直に申して若い世代は学業・仕事・家事等に多忙で、同窓会への関心が低い様です。同窓会活動を通して、世代を越えて卒業生同士や恩師との絆を大切に、母校の発展を支援しようとするのは、意義のある事ではないでしょうか。

市川二中同窓会役員選出に関する告示

同窓会現役員は平成15年度総会をもって任期満了となります。これに伴い、会則および役員選出に関する細則に基づき、次の通り告示致します。

1. 役員選出日：平成15年度総会日
2. 選挙対象の区分と人数
選挙対象の区分：会長理事、副会長理事、会計理事、理事及び会計監査委員
人員：理事 20～25名（会長理事、副会長理事、会計理事を含む）
会長理事 1名、副会長理事 3～4名
会計理事 3名
会計監査委員 2名
3. 立候補者届出
(1)届出方法：書面にて届け出る（郵送、Fax、メール）
役員選出委員長宛
(2)届出内容：①選挙対象区分 ②氏名 ③生年月日 ④住所（電話） ⑤卒業期及び卒業時のクラス名
(3)届出書式：自由
4. 届出期限：平成14年12月1日（当日消印有効）
5. 役員選出委員長氏名、住所等
篠崎 實

同窓会バスツアー案内

- *行き先 国立天文台(三鷹市) 深大寺神代植物公園
- *日時 平成14年11月6日(水) 午前8時20分 集合
- *集合・解散場所 市川市役所前 (JR本八幡駅、京成八幡駅より徒歩5分)
- *費用 約1500円(1人) (バス・高速・駐車料のみ、昼食・観光は各自負担)
- *定員 25名 定員オーバーは抽選(複数申し込みは1枚2人まで可)(結果は約1週間前に連絡)
- *申込み 住所、氏名、電話(fax)を明記し、ハガキで下記へ10月25日必着

三村 武教(副会長)

平成14年度 定期総会報告

― 会則改正で活発に論議 ―

晴天に恵まれ、汗ばむ陽気のう
え、日本中がサッカーのW杯で沸
いている中、平成14年度同窓会定
期総会が開催された。

日時 平成14年6月9日(日)
14時～17時
場所 市川二中体育館
参加者は、先生、会員合計で1
03名、熱気にあふれた総会とな
った。

定刻を5分過ぎ総合司会の佐橋
省二理事(7期)が開会を宣言。



桑村益夫会長(1期)の挨拶、工
藤明夫校長の挨拶と続き、来賓の
紹介を経て、議事進行という流れ
になった。

工藤校長の挨拶では、特に在
生の校外活動等をサポートする3
S活動に、卒業生の参加が呼びか
けられた。

議事

第1号議案

13年度活動報告並びに決算報告
承認の件(3頁参照)

13年度の活動報告が、桑村会長
より、会計報告が加藤重夫会計委
員(10期)、会計監査報告を岸田
弘会計監査委員(1期)が説明し、
拍手多数で承認された。

また桑村会長からは、バスツア
ーへの多数の参加が要請された。

第2号議案

14年度活動計画並びに予算承認
の件(3頁参照)

14年度活動計画を桑村会長、予
算案を加藤会計委員が説明、拍手
多数で承認された。

第3号議案

会則改正案承認の件(市川市立
第二中学校 同窓会会則改訂版は
8頁参照)

●横立金の明示方法に関して
小原徹也PTA会長より、「会計
報告に横立金があるのに会則では
その取り扱いについて何も触れて
いないのはどういう事か？」
三村理事より「明確にすべきこ
と、会則への記載はないが、何
らかの形で明示するよう改善す
る(但し、会計管理規定)には既に
明示、記載済み」

会則改正案に関して

●会則改正案に関して
森山正義氏(2期)「改正案は
大幅な改正なので、今日提案す
るの総会は賛成、今日は持ち帰り来
年の総会で審議して欲しい。疑問点
も多々ある」

山木洋之氏(1期)「総会開催

や、会報の発行が主な仕事だから
活動が円滑に進むよう、取り敢え
ず承認してあげたい」

鈴木尚賢氏(14期)「動議とし

て提案したい。今日、取り敢えず
承認して、必要ならばまた、来年

改正するという事で賛否を取って
はどうか？」

議長が、出席者に賛否を求めた
処、拍手多数で動議が採択され、
改正案も賛成多数で承認された。

第4号議案

副会長2名増員の件

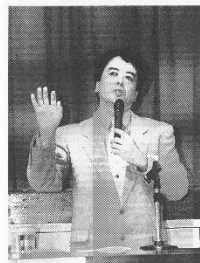
副会長3名増員の件は桑村会長
が説明、三村武教理事(5期)、
佐橋省二理事(7期)の副会長長
任が承認された。

以上で議長団が解任された。

講演会

15時30分より、深川保典氏(宇
真左、20期、都市経営学専攻。中
央大学研究開発機構客員研究員、
英国国立ウエルズ大学大学院M
BAプログラム教授、著書『東京
改都』中央公論新社、等)によ
る、21世紀・日本のまちづくり
という講演に移った。

今、流行っている市町村合併を
超越し、府県合併して「都道府州
制」に移行して、日本を17の州に
する等の建設的な説も披露され、
出席者も熱心に講演を聞いていた。



懇親会

その後30分間、各期毎に分かれ、
歓談の時間が持たれ、ジュースで乾
杯したり記念写真を撮ったりと和
気満々で時間が過ぎた。

アトラクション

二中プラスチック部、鈴木宏先
生指揮で、「宇宙戦艦大和」、「マ
ーチン」等の演奏を楽しみ、その
伴奏、懐かしい校歌を皆で斉唱し、
17時、フィナーレとなった。



13期 同期会予告
平成14年11月10日(日)
2時より
市川グランドホテル

総会議案

- 第1号議案
- 1. 平成13年度 活動報告
 - 13年4月1日 52期生新会員入会
 - 6月3日 平成13年度・定期総会開催
 - 10月20日 「同窓会会報・第4号」発刊及び賛助金拠出要請
 - 11月16日 バスツアー つくば宇宙センター、筑波山ハイキング
 - 14年3月16日 評議委員会開催(会則改正案、各種委員会規定 検討)
- 随時 名簿整備
随時 学校行事参加(入学式、体育祭、須和田祭、卒業式など)

なお、活動のため定例理事会5回、各種委員会随時開催。会報、諸案内発送作業を行う(評議委員参加)。

- 2. 平成13年度 同窓会決算報告(表1参照)

- 第2号議案
- 1. 平成14年度 活動計画
 - 53期生新会員入会 (14年4月1日)
 - 平成14年度・定期総会開催 (14年6月9日)
 - 「同窓会会報・第5号」発刊 (14年10月)
 - 財政基盤の確立(賛助金依頼実施) (14年10月)
 - バスツアー実施 (14年11月)
 - 評議委員会開催(評議委員の増員、次期役員選出等) (14年7月、15年3月)
- 随時 名簿整備
随時 学校行事参加(入学式、体育祭、須和田祭、卒業式など)

- 2. 平成14年度 同窓会予算(表2参照)

- 第3号議案 二中同窓会・会則改正案審議(P8参照)

- 第4号議案 副会長・増員 候補者 二村武教理事(5期) 佐橋省二理事(7期)

表1 平成13年度 二中同窓会決算書(平成13年4月1日～14年3月31日) (円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
(1) 前期繰越金	648,295	(1) 総会関係費	388,074
(2) 新会員入会金(53期)	57,600	(総会開催費用)	(176,537)
(3) 『五十年史』売上金	32,250	(開催通知郵送費)	(211,537)
(4) 総会出席者会費等	167,969	(2) 『会報』関係費	475,595
(5) 賛助金	1,063,970	(会報作成費)	(173,770)
(6) 受取利息	629	(会報発送郵送費)	(301,825)
		(3) 同窓会名簿作成関係費	7,480
		(4) 会議費	32,752
		(5) 積立金	200,000
		(6) 次期繰越金	866,812
合計	1,970,713	合計	1,970,713

(註) 柳柳資産(14年3月31日)
(1) 横立金累計額 600,000円
(2) 『五十年史』残り2冊 (3) 備品(コピー機1台)

表2 平成14年度 二中同窓会予算書(平成14年4月1日～15年3月31日) (円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
(1) 前期繰越金	866,812	(1) 総会関係費(含郵送費)	425,000
(2) 新会員入会金(54期)	54,000	(2) 『会報』関係費(含郵送費)	555,000
(3) 『五十年史』売上金	30,000	(3) 同窓会名簿作成関係費	40,000
(4) 総会出席者会費等	150,000	(4) 会議費	30,000
(5) 賛助金	800,000	(5) 積立金	200,000
		(6) 予備費	650,812
合計	1,900,812	合計	1,900,812

評議委員会 活動報告

役員選出委員会発足

○開催日時 平成14年3月16日
14時～16時30分

開催場所 市川二中視聴覚教室
出席者 理事12名 評議委員11名
合計 23名
6月の定期総会にむけ主要議題の「会
則改正」をに付随した細則を審議
また、13年度決算および活動報告、14年
度予算と活動計画等を承認した。
右い鬼原さん(49期)も出席して活
発な議論となった。

○開催日時 平成14年7月13日
13時～15時

開催場所 市川二中第1会議室
出席者 理事 11名 評議委員 8名
合計 18名

役員改選期にむけた平成15年度の準備
のため役員選出委員会(原案係)「会報」編
集を外在化した場合の予算上積み等を決
議し、総会の反省、総会関係会計報告
今後のスケジュールなどを確認した。
また、10月12日の「会報5号」発作
業への協力をお願いします。

細則(案)審議、承認

2月理事会の審議結果
を盛り込んだ会則改正案
を審議し、多数の意見を受
けた。それを反映した総会提出案」を承
認。

○開催日時 平成14年7月13日
13時～15時

開催場所 市川二中第1会議室
出席者 理事 11名 評議委員 8名
合計 18名

役員改選期にむけた平成15年度の準備
のため役員選出委員会(原案係)「会報」編
集を外在化した場合の予算上積み等を決
議し、総会の反省、総会関係会計報告
今後のスケジュールなどを確認した。
また、10月12日の「会報5号」発作
業への協力をお願いします。

同窓会活動に参加を!!

次の各期では現在、理事、評議委員ともに1
人も居りません。どなたか同窓会活動に参加し
て下さる方の中し出を期待しております。
11期(S35年卒)、17、18、19、21、23、25、
29、33、35、37、38、39、40(H11年)、41、42、
43、44、45、46、47、48期(H9年)。



二中の新たな土台づくり

市川二中学校長 丁藤 昭夫

定期総会が盛衰裏に行われまし
たことを、心からお祝い申し上げ
ます。

総会に参加いたしましたして、二
中同窓会がいよいよ草創期から充
実期へと向かわれつつあることを
実感し、嬉ばしく思っております。

さて、二中の現在の様子等を述
べ、ごあいさつにかえさせていただきます。

先ず夏の総合体育大会は、どの
部活動も予想以上の活躍をみせ、
参加した生徒は納得のいく結果を
残したようです。特に柔道、陸上、
水泳では市内大会で優勝すること

が出来ました。

これも、熱心に指導下さった先
生方や顧問のいない部活動では保
護者の方、地域の方々(7人)の
応援があったることと感謝してお
ります。

次に、過日、市内中学校の研修
会において、二中の「総合的な学
習の時間(二中心)」の提案
を行いましたところ、他校の校長
先生方から特に関心の寄せられま
したことは、一年生から三年生ま
で同時展開を起して、生徒指導上、
全く問題が起っていないことにつ
いてです。

そのことについては、先生方が
日常的に、どの生徒とも話し合う
ことに心懸けて活動している成果
ではないか、また、多くのゲスト
ティーチャー(地域の方々、指導
者6人)による生きた学習体験等
が行われていること等が考えられ
ますが、何と云っても、生徒達が
自分で学習テーマを設定して、自
主的に取り組んでいることが大き
な理由ではないかと説明しました。
この四月から学校五日制となり
授業日数が減ったことによる学力
低下論争等々、毎日のようにマス
コミでは教育問題が報道され、保
護者の方々にとっては学校に対す
る期待が今まで以上に大きくなっ
ているのではないかと感じており
ます。

私は先ず、学校や家庭において、
当たり前のことがしっかり行われ、
それが定着するよう努力すること
から現実に戻れました。
設計用には作られた実物大が展示
してあり、船内実験室では中に入っ
てみると毛利さん、向井さん達が
宙に浮いた
り、機になっ
たり、逆さ
になったり
している姿
を想像しな
がら、飛行
上気分を味わって来ました。別棟
には宇宙食等も売られており、地
上とほとんど同じ物を食べられ、
20種類も同じ物を食べられ、
やがて正午近くになり、宇宙セ

- 平成13年
9月・須和出祭(28・29日)
10月・中間テスト(9・10日)
・合唱コンクール(20日)
11月・一年校外学習(2日)
・白石高等学校合同発表会(10日)
・総合体育発表会(14日)
・期末テスト(29・30日)
12月・2学期終業式(21日)
平成14年
1月・二年カタルタ大会(15日)
2月・学年末テスト(27・28日)
3月・修学旅行(27・28日)
・同窓会総会(19日)
7月・期末テスト(1・2日)
・山百合女子級合同宿泊学習(大房町少年自然の家、5・7日)
1学期終業式(19日)
★部活動
市川湖東総合体育大会
・陸上総合・準優勝 女子 優勝
・剣道男子、女子団体 各3位
・野球 優勝
・バスケット女子 ベスト8
・バレーボール 優勝
・県吹奏楽コンクール 銀賞
・剣道男子個人 2位
・水泳女子B 2位
・水泳女子D 2位
・関東大会 2位
・水泳女子B 2位
・水泳女子D 2位
・全国大会 4位
・剣道男子個人 2回戦進出

つくば宇宙センターと筑波山ハ
イキングに向け市川を9時出発。
一九七二年(S47)に東京ドーム
三分の広さ程で設立された宇宙
センター。役割として平和目的の
ロケットや人工衛星等に関する研
究、開発、試験が行われている。
NASAが開発してきたロケッ
トの20分の1のサイズ模型の展示。
日本初のロケット「H-II」は全
長50m、重さ260tもあり、エン
ジン「LE-7」はジャズミュージ
ックのエンジン4つ分の力に相当
し、もし新鮮に「LE-7」をつ
けたとすると、東京から大阪ま
で1分で着いてしまう程のエネル

ギーだとか。ガイドさんの説明を
聞きながら宇宙センター内で夢を
みている様な錯覚すら感じてしまっ
たのは私だけだったのでしょか?
「LE-7」
エンジンの
前から桑村
会長、三村
理事もなか
なか離れよ
うと離れて
いましてし
たもの。
人口衛星の試験モデル「おりひ
め・ひこぼし」号に重量を少して
も軽くするためアルミホイルが各
所に使用されているのにも少しは

に委任する等工夫されて、4のア
トラクションや会員相互の交流に
時間を割いたらいかでしようか。
須和田ヶ丘の情景をたのしみにし
ております。

が大人の努めであると考えており
ます。
生徒はその時代の流れを敏感に
感じとり、私達に行動を訴えて来
ます。
幸い、二中の先生方は生徒の日
線に立って教育活動に取り組んで
くれています。
この教育改革の元年に当り、二
中教育の基礎づくりを皆様のご協
力を仰ぎながら、職員一同で進め
ているところです。
最後に、余談になりますが、祖
父母のおられるご家庭を調べま
したところ、九六世帯、一三九人の
方がおられました。
同窓生の方々で、ご都合のつき
ます方は、是非二中のゲストティ
ャーとして貴重な技能や体験を
ご指導いただければ幸いです。

て頂きます。出席に一筆お書きそ
え頂きましたのに残念です。私は
元気にしております。

恩師からのお便り

総会案内返信ハガキから

挨拶、激励のお言葉は一部省
略させていただきます。
(敬称略 順不同)

飯盛 宏
お陰様で元気にしております。
秋元 茂樹
学校を退職し、毎日家でプラ
ラしております。同窓会の盛会をお
祈りします。

安部 恭子
今年こそは出席したいと思っ
ております。夏に孫が生まれるの
とても楽しみにしております。

石井 和美
福業中に勤務しております。また
昨年度より週一度、大洲中の夜間
講師もしています。両校には二
中時代にお世話になりました先生が
数名いらして、旧交を温めつつ充
実した毎日を送っております。二
中時代に、中学生・高校生だった
我が子どもたちも、それぞれ社会
人になり、ひと安心です。今年も
全力投球でがんばります。

市原 伸作
現在、市川市立宮久保小学校
で勤務しております。
伊藤 喜之
市川市少年自然の家(株)市食
総務部長並びに幼稚園の園長とし
て、十年目を迎え、日々、極めて

元気にやっております。
内田 勝也
脳梗塞発作を起して5年経ちま
したが、言語障害が残りました。
他の面は日常生活には不便がない
と云うところです。皆々様健康に
は十分ご注意の上お過ごし下さ
い。

江澤 忠
平成4年に小脳出血で倒れてか
ら十年、左側機能失調で、歩行も
一人では一切無理です。目もろ々
不自由になってきましたが、日々
リハビリに明け暮れ、心豊かに過
しております。
大石(真田)有規子
只今1歳1ヶ月の娘(まな佳)
にふりまわされて育児中です。4
月から保育園にあずけ職場復帰し
ましたが、体のベース取り戻すの
が大変です。

氣賀沢 明
退職して早くも十二年、市川へ
行く機会も少なくなって懐かしい
です。
深草 清
私は本年3月末日をもって諸君
を教えて以来五一年の現場教師
を終わりました。その間、小、中、
高、大学と遅くでも歩んで来まし
た。現在は能楽堂で居眠りしてい
ます。

鹿倉 操
十三年六月入院、手術致しまし
た。術後の体力の減退、特に筋力
の弱まりが顕著です。老年期の後
半ですね。
総会のやり方で、議題の1・2・
3はごく短時間(三〇分以内)で
処理するか、各期の理事会(役員)

小川(向後)玲子
二中を初任でスタートし、今年
は二十四日、初めて教えた中学
生、今は〇人もの子供の親になり
又活躍する年になり、うれしく思
てます。「師を追い越す」子供の
姿をみて、教師をやっていると
たな〜と思うこの頃です。
中村 櫻
対外的仕事からは引退しました。
好きな古代史について、自分なり
に取り組んでおります。
中山 廣璋
吹奏楽部との交流が定着し、大
変楽しくもっております。
西村 行雄
このたび転居いたしました。旧
居住地・帯の再開発事業による高
層ビル建築のため、3年半程の期
間の仮住居です。古希も過ぎ、年
老い、残るはカラ元気だけのよう
ですが、なんとか病気をだましだ
まし生きています。
沼田 ひろえ
近所に二中出身の方が1名あり
ました。六〇歳近い方で、その方
が中二の時に制服がきたとお話
してくれました。その方をさそ
って参加させていただこうと思いま
す。
藤井 衛
元気で生活しております。校長
さんは工藤さんだと思いますが、
よろしく伝えてください。
安永(伊藤)てる
年なりに健康に気をつけて頑張っ
ております。
山本(赤沢)和子
家族の健康上の理由で欠席させ

封筒の宛名に間違いのあ
る方、および同窓生の情報
をお持ちの方は、同窓会までご
連絡下さい。

同窓会報 第5号 平成14年10月12日

同窓会報 第5号 平成14年10月12日

同窓会報 第5号 平成14年10月12日

同期会だより クラス会だより

2期 同期会

2期F組 篠崎 實
日程：平成13年10月26日(金)
会場：市川グランドホテル6階
開催日がウィークデイということもあって同期生は29名の参加だった...



3期生会便り

3期B組 山崎健司
6月1日(土)、3回目の3期生会が、4年振り市川駅前の山崎製パン厚生年金基金会館で同期生40名に、4名の先生方のご来賓も得て開かれました...

初参加で、卒業以来50年振りの再会という人もいて、当初遠慮がちに次第に「俺・お前」の甘み戻って時を懐かしんで話し込む様子、和やかな雰囲気では進められませんでした。

会場はいつものながら二中卒業以後も地元に住まいし、地域と周辺に貢献して今やその名を知らないと言われだと言われる位の名士に変わったかつての悪童赤顔の美少年が景気動向と同期生の懐具合を勘案しつつ、会の雰囲気盛り上げそれなりに豪華にと、顎だけ動かしたものでこの辺のところはさくが苦勞人でした。また司会は、六十代半ばのこの歳になっても大声で簡潔な物言いをする前任者が、良い加減に適当に口を挟んで上手く会をリードし、2時間半近くの時間があってという間の感じでした。

参加者も早や65、66歳、外見の変化も個人差は大きく、見先生と見紛うばかりに立派に成長している者もあり(ご出席の先生は全員男子で女子の生徒については比較しておりませんが)出席の先生は二中時代の懐旧談も程々に健康、趣味、孫、今後の生活設計と幅広く、中には二味線持参で義太夫や邦楽については当時学校教育にもなく勉強する機会もなかったもので正確には何だかわからないを聞かせてくれる人生余裕派もいてまことに多士済々これからの人生に示唆を与えられたような気分になりました。



5期生便り

5期A組 三村 武教
六月九日(日)同窓会終了後、市川駅南口のスナック「夢のつづき」で五期生の懇親会を開催した。日曜日の午後六時からと言うこともあって、参加者は十九名と少なかったが、久しぶりの再会に話が吹き、熱唱も加わって楽しい一時を過ごすことができた。

懇親会とゴルフの会

「真清水ゴルフ会」が発足した。同期会に関するアンケートを実施しました。
早い時期からの開催準備と運営に奔走された人々に感謝しつつ3年後の元気な再会を約して散会しましたが、お互いの元気な姿を確認するのも意義ある事と思われました。

した結果、ゴルフの会参加希望者が約二十名ほど集まった。繁田佳彦君、小竹尚志君が常任幹事に決まりました。この秋、第一回コンペを実施することだ。この会報が届く頃は次回に向け練習に励んでいる人もいろいろである。
我々の同期は明年六十五歳を迎える。リタイヤ組がだんだん増えてくる。会社との縁が無くなってくると、仲間との集まりが生き甲斐として残ってくる。この「真清水ゴルフ会」が順調に発展するとともに、他の同好会が発足することも願っている。

元気をもらえた同期会

8期H組 宮崎久子

昨年(平成十三年)十一月十七日(土)市川グランドホテルにて、同期会を開催、恩師小林義直先生、千葉正子先生、佐藤千寿子先生を囲み、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。出席者七十二名。
今、思い返す事は千葉に住んで三十年程になり、市川の方へはあまり出かける事もなく、二十年前の同期会に出席したっきりで最近はずっとつかい思いが強くなっていました。そんな時に二中の同窓会の通知が届き初めて出席しました。そこで榎本さん達とお会い出来る十一月に同期会を予定していた話を聞き、私にも少しはお手伝い出来る事があるかと考え、頂いた住所録と卒業写真を頼りに時間のゆるすかぎり電話をかけまくりました。

14期・同期会

14期6組 印出(綱取)博美

三月からは新しく習い事も始めて市川の方へ月に何回かは出かけるようになりました。毎日が楽しいです。ひとりでも多くの方とお会い出来るのを楽しみに次回を待っています。

14期6組 印出(綱取)博美

6月9日、同窓会総会終了後、14期生は、駅前の白木屋にて卒業以来初めての同期会を開きました。後から駆け付けた人も含めて16名が参加、39年ぶりの再会を喜びました。

近況報告では、子供の結婚、孫の誕生等々、年齢を感じさせること

16期1組・島海学級
16期1組 安藤 達夫
一昨年三十五年ぶりの千葉県民



とが多かったのですが、皆さん中学時代の面影はパツチリ、誰だかすぐ解るのは不思議です。W杯・日ロ戦の口にも拘らず、不明の人の情報が出たりして大いに盛り上がり、またこの様な機会を持つという事になりました。
それで、14期生の方で集まりに参加したい方、誰かの情報をお持ちの方は、私の方にご連絡下さい。電話・FAX共に047・334・1188です。
10組の方だけはクラス会を開いているのですが、他の組もできる様に、それまで同期会として集まって行きたいと思えます。久しぶりの同期の方は、皆、輝いています。交流の輪を益々広げて行きたいです。

復帰を期にクラス会開催を思い立ちました。恩師の島海宏常先生がお元気なことを確認した上で、市川在住の有志の協力を得て準備を始めました。
卒業生名簿、電話帳、旧宅近隣の聞き込み、人づてに...、あらゆる手段を用いてようやく級友の半数強の消息が判明したのが昨年木曜、ちょっとした探偵気分でしたが、苦勞して旧友を見つけた時のうれしさは格別でした。市川二中の同窓会事務局にも大変お世話になりました。ただ第16期ではわれわれが初めてのクラス会開催と聞いて意外にも思いました。
そんなわけで準備に手間取りましたが、5月6日の午後、JR市川駅に近い山崎製パン厚生年金基金会館に島海先生を囲んで一六名の旧友が集まり、三十七年前にタイムスリップして久々に楽しいひとときを過ごしました。
島海先生からは、七十五歳になっても若さを保つ秘訣として「新しいものに挑戦するのに遅すぎることはいない」という有益なお話をいただきました。現在でもパソコン通信、囲碁、写真...と広い趣味をお持ちで、ボランティア活動にも御活躍のことです。
その後出席者から近況報告や、中時代の意外な話が飛び出して大いに盛り上がりました。卒業前年の秋には東京五輪があり、千葉街道を通る聖火に随走する級友を声援して行ったり、午後の授業を振り替えて教室でテレビ観戦したのも懐かしい思い出です。本誌にあっ



編集後記
会報第5号をお届けします。猛暑の頃に編集開始。発行部数が増えたと広報委員会での内部作成に限界も見え、今号は会報作成の一部外注しました。会報への「ご意見」感想をお聞かせください。
広報委員 石原記

「賛助金」についてのお知らせ
昨年もたくさんの方から「賛助金」のご協力を頂き、誠に有り難うございました。ご協力者の明細は左表のとおりです。今年も同封の振替用紙にて御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

Table with columns for 'Period', 'Number of People', and 'Amount (Yen)'. It lists financial records for various periods from 18th to 52nd, including a total of 395 people and 1,091,000 Yen.

郵便局払い出し差引手数料込み

市川市立第二中学校同窓会会則

第1章 総則

第1条(会の名称)

本会は、市川市立第二中学校(以下市川二中という)同窓会と称する。

第2条(目的)

本会は、本会員相互の連携、親睦を図るとともに、活動を通して母校の発展及び社会に貢献する。

第3条(事務局)

本会は事務局を、千葉県市川市須和田2丁目34番地1、市川二中内に置く。

第2章 活動

第4条(活動)

第2条に掲げた目的を達成するため、次の活動を行う。

1. 毎年1回の定期総会及び必要に応じた臨時総会の開催
2. 会報の発行及び会員名簿の管理
3. 講演会、レクリエーションの開催等による会員相互の親睦、交流の機会の提供
4. 母校及び母校在校生との交流
5. その他必要と認められる事業

第3章 会員及び顧問

第5条(会員)

1. 本会の会員は正会員及び賛助会員をもって構成する。
2. 原則として市川二中に在籍した者が卒業と同時に正会員となる。また、市川二中に在籍したが卒業しなかった者も正会員となることが出来る。
3. 市川二中に在職中もしくは在職したことがある教職員を賛助会員とする。
4. 会員は氏名、住所、電話番号等名簿記載事項に変更が生じた場合は、直接或いは評議委員等を通じて書面(メールでも可)で同窓会に報告する。

第6条(名誉会長)

現学校長を名誉会長に推薦する。

第7条(顧問)

1. 本会の運営を円滑に行うため顧問を委嘱することが出来る。委嘱者及び委嘱期間は理事会に於いて審議し、在籍理事の過半数の賛成をもって承認する。
2. 顧問の委嘱期間は原則として2年以内とするが、再委嘱を妨げない。
3. 顧問が不適任であると判断される場合、委嘱を解くことが出来る。委嘱を解くに当たっては理事会に於いて在籍理事の過半数の賛成をもって承認する。

第4章 組織

第8条(組織)

本会には、総会、評議委員会、理事会を置く。また理事会の下に各種委員会を置く。

第9条(総会)

第9条の1(定期総会)

1. 定期総会は年1回開催するものとし、会長が召集する。開催時期は原則として新年度の開始から3ヶ月以内とする。
2. 次の事項を定期総会に於ける決議承認事項とする。
 - 1) 前年度の活動報告及び決算
 - 2) 新年度の活動計画及び予算
 - 3) 改選期に於ける理事および会計監査委員、或いは欠員補充の理事及び会計監査委員の選任
 - 4) その他総会に於いて決議承認すべき重要な事項

第9条の2(臨時総会)

必要に応じ臨時総会を開催することが出来る。臨時総会の開催は評議委員会に於いて

て出席評議委員会構成メンバーの過半数の賛成を要する。

第9条の3(総会の構成及び総会に於ける承認)

1. 総会は正会員によって構成される。ただし、賛助会員もオブザーバーとして出席できる。
2. 総会に於ける決議事項は出席正会員の過半数の賛成をもって承認される。

第10条(評議委員会)

1. 評議委員会は総会決定事項の執行機関及び総会に次ぐ決議機関とする。
2. 総会決定事項の執行に当たってその実務の執行は理事会に委託する。ただし、理事会の要請がある場合、理事会に協力する。
3. 評議委員会は会長理事(以下会長と略称する)、副会長理事(以下副会長と略称する)、会計理事(以下会計と略称する)、理事及び評議委員によって構成される。
4. 評議委員会は次の事項を行う。
 - 1) 総会提出議案の審議及び決定
 - 2) 総会の運営
 - 3) 理事候補及び会計監査委員候補の選出に関する事項の審議・決定
 - 4) 会費、入会金に関する事項の審議及び決定
 - 5) 本会の運営に関わる細則、その他重要事項の審議・決定
5. 理事候補及び会計監査委員候補の選出作業を円滑に行うため評議委員会の下に役員選出委員会を置く。役員選出委員会については市川二中同窓会細則・同窓会役員選出に関する細則に定める。
6. 評議委員会の決議事項は出席構成委員の過半数の賛成をもって承認される。

第11条(理事会)

1. 理事会は評議委員会の協力的下総会決議事項及び評議委員会決議事項の実務を行う。
2. 理事会は会長、副会長、会計及び理事により構成される。
3. 理事会は原則として会長が召集するが、理事の3分の1以上の請求により開催することができる。
4. 理事会は総会に於いて承認された予算と活動計画に基づき、及び評議委員会に於いて決定された活動内容に基づきその運営を行う。

なお、理事会が活動を行うに当たり、評議委員の協力を得ることが出来る。
5. 理事会の決議事項は在籍理事の2分の1以上の賛成をもって承認される。

第12条(各種委員会)

1. 同窓会の諸活動を円滑に行うため、理事会の下部機関として各種委員会を設置することが出来る。
2. 各種委員会については細則を定める。

第5章 役員及び委員

第13条(三役及び理事)

1. 理事の数は20名以上25名以内とし、会長(1名)、副会長(若干名)、会計(若干名)の三役をその中に含める。
2. 会長は会を総括する。副会長は会長を補佐し、会長不在時は会長を代行する。副会長が複数存在する場合、予め会長代行の順序を定めておく。
3. 三役を含め理事は正会員中より総会に於いて選出する。
4. 理事の選任に当たって、理事候補は原則として立候補制による。
5. 立候補者が定員に満たない場合は評議委員会が候補者を推薦する。
6. 会長候補、副会長候補、会計候補は理事候補者の中から評議委員会が推薦する。
7. 理事に欠員が生じた場合、原則として定

期総会に於いて選任する。

8. 二役に欠員が生じた場合、評議委員会の決議により理事中より欠員補充を行うことが出来る。この場合結果を総会で報告する。
9. 役員の選出に関する詳細は市川二中同窓会細則1・同窓会役員選出に関する細則に定める。

第14条(会計監査委員)

1. 会計監査委員の定員は2名とする。
2. 会計監査委員は正会員中より総会に於いて選出する。
3. 会計監査委員の選任に当たって、会計監査委員候補は原則として立候補による。立候補の意志ある者は改選期前年の12月末までに会長宛書面にて立候補の届け出を行う。
4. 会計監査委員は理事或いは評議委員を兼ねることが出来ない。

第15条(評議委員)

1. 評議委員は各卒業期を代表し、評議委員会を通じて同窓会の運営に当たるとともに同窓会と卒業各期との連絡の任に当たる。
2. 評議委員は卒業期毎に若干名(2名以上4名以内)を選任し、選任者名を会長に報告する。選任の方法は本会則では規定しない。

第16条(連絡委員)

1. 連絡委員は卒業時のクラスを代表し、同窓会と出身クラスとの間の連絡の役割を持つ。
2. 卒業時のクラス毎に男女各1名を選任し、選任者名を会長に報告する。選任の方法は本会則では規定しない。

第17条(任期)

1. 三役を含め理事の任期は総会から2年後の総会までの2年とし、再選を妨げない。
2. 会計監査委員の任期は総会から2年後の総会までの2年とし、再選を妨げない。
3. 任期途中で交代があった場合、後任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。
4. 評議委員、連絡委員の任期は本会則では規定しない。

第18条(リコール)

理事、会計監査委員及び評議委員に不満のある時は評議委員会において出席者の4分の3以上の賛成、又は総会に於いて出席者の3分の2以上の賛成により、これをリコールすることが出来る。

第6章 会計

第19条(会計)

1. 同窓会の会計業務は会計が担当する。
2. 本会の会計年度は毎年、4月1日から翌年の3月31日までとする。
3. 本会は会費、入会金、賛助金及び寄付金を基金として運営する。
4. 会員は会費を納入する。
5. 新入会員は卒業の際、入会金を納入する。
6. 予算及び決算は総会の承認事項とする。ただし、実行予算が総会承認の予算を大幅に超過する場合、或いは総会承認の活動計画にない活動に支出費する場合、評議委員会の承認を必要とする。
7. 総会に於いて会計委員は会計を報告し、会計監査委員は会計監査を報告する。
8. 会計の詳細については別途細則を定める。

第7章 付則

第20条(会則の改正)

会則の改正は評議委員会が審議し、総会で承認する。

第21条(会則の制定及び改定履歴)

昭和27年5月18日 制定
平成9年11月1日 第1回改訂 同日施行
平成14年6月9日 第2回改訂 同日施行